

<事業名> ドーナツこども食堂

団体名	NPO 法人コウノトリ豊岡・いのちのネットワーク
所在地	豊岡市
代表者名	北村 彰 秀

事業内容	<p>① スタッフや通所している若者がこども食堂を開設する 実施日：令和2年4月1日～令和3年2月28日の間 毎月2回 第2・第4木曜日を基本とする 開設時間：11時～13時 12回実施 *本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止による緊急事態宣言発令のため 4月・5月・6月・1月・2月は、こども食堂を中止した。 食数：約60食を準備する 会場：豊岡健康福祉センター2階 ドーナツの部屋</p> <p>② 講演会・研修会を実施 ひきこもり支援やこども食堂について理解と協力を得る 6月17日豊岡市民生委員 7月13日香美町ひきこもり支援員 7月20日豊岡市商工会議所 9月7日県民局500人委員会 10月20日豊岡市日高町民生委員 10月23日兵庫県 ひきこもりサポーター研修 11月5日豊岡市青少年補導委員 12月3日兵庫県介護支援員 2月6日豊岡市小学校PTA講演会</p>
地域	豊岡市 (対象区域は但馬全域)
事業の効果	<p>① 団体(組織)内の効果 ・本年度は、コロナ感染拡大防止のため緊急事態宣言が発令され、やむなく食堂を休業した。この間にコロナ感染拡大防止の徹底を図る食堂運営について協議し、広さや換気のことを考慮して食堂を3階に移し、7月にリニューアルオープンした。窓際にカウンター席も設置し、明るく展望の良い食堂は、毎回多くのお客で賑わい、地域の住民交流の拠点としての役割を持つ。不登校やひきこもりの若者達は、食堂のスタッフとして張り切り、接客にも大分慣れ、自信をつけている。この体験の積み重ねが働くことの喜びにつながり、次のステップに踏み出せる大きな力となっている。</p> <p>② 地域への効果 ・但馬各市町での講演会を実施する中で、民生委員をはじめ各関係機関、PTAの教職員や保護者、農作物の生産者にこども食堂の活動を知っていただき理解と協力を得ている。 ・阪神間からの視察依頼もあり、こども食堂への関心が年々高まっている。 ・「地元の旬の野菜をふんだんに生かしたランチに元気づけられる」と、子連れのお母さん方や高齢者に好評を得ている。また、不登校やひきこもりの若者たちと身近にふれあうことにより、不登校やひきこもりについての関心が深まり、包摂型社会づくりにつながっていくと信じる。</p>

事業経過	年 月 日 7月～12月 開設10日前	場所：ドーナツの会 5名 ・ 食堂開設について献立と役割分担・買い物計画（60食準備）
	開設3日前	場所：食堂 4名 ・ 開設準備(清掃と食器の点検) 環境整備(季節に合わせた壁面構成)
	開設前日	場所：食堂 8名(若者も一緒に) ・ 食材購入、 ・ 室内清掃・消毒 テーブル設置等
	開設日 第2第4木曜日	場所：食堂・ドーナツの会 15名(若者含む) ・ 調理員、スタッフ、若者の検温と体調チェック ・ 来客の検温と手指消毒、マスク着用の徹底 ・ 調理、配膳、椅子テーブルの消毒、配膳、片づけ ・ 反省会 *月2回の食堂開設に向けて上記の事業内容を実施
協働の相手方	夢ポケット 食育教育の推進(親子料理教室・栄養指導)に積極的に取り組んでおられるので、食品の安全管理や食堂のメニュー、食材の調達方法などアドバイスをいただく。	
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>① 団体(組織)の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止を図るために、スタッフや利用者の危機管理意識を持って、検温とマスク着用、手指消毒、換気、密を避ける等の徹底。 ・ 食堂での就労体験は、社会へつながる大きな力になるが、若者は、仲間と一緒に活動を続けていくことが困難な者もいる。一人一人の思いに寄り添いながら、<u>細やかな支援</u>を大切にしたいと思う。 ・ 若者達の自立に向けての調理体験の充実を図りたい。 ・ 毎回、管理栄養士さんの指導のもとで栄養バランスの良いおいしい食事を安価で提供している。夢但馬の助成金のおかげと感謝しています。今後もぜひ継続的な支援をお願いしたいと願っている。 <p>② 地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校・ひきこもりの課題を社会の課題と捉え、悩める若者達や家族が決して孤立しないように、<u>地域がつながり合う</u>ことが求められている。 ・ 両親が共働きの家庭が増えていく中で核家族が増え、家族の<u>だんらん</u>の時間もなく、経済的な貧困をはじめ、心の貧困を抱えた子供たちが増えている。 <p>〈令和3年度以降の事業計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校・ひきこもりの居場所の拡大事業としてのこども食堂を継続するとともに、毎日、来所して心のケアとしてのワークに取り組む若者達のために、<u>温かい昼食</u>を提供していきたい。 ・ 食生活の大切さに気づき、「みんなで食べるとおいしいね。」を合い言葉に、温かい食卓を通して、誰もが自分の役割を持って命を輝かせ、幸せな毎日を送ることができるように努力をしていきたい。 ・ 講演会等を通して但馬各市町にこども食堂の情報提供を継続して行っていきたい。 	

ドーナツこども食堂



OK



X